

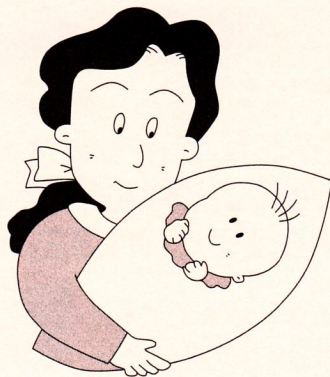
お母さんから出た こんな質問

Q 3歳の娘です。耳かきをしているときに、耳から臭い耳垂れが出ました。どのような病気の可能性がありますか？

A 「耳垂れ」は「耳漏」ともいわれ、外耳道、鼓膜、中耳のいずれかに原因がある場合にみられる症状です。ご質問のように、他に症状がなく、耳掃除をしているときにたまたま気がついたということからは、耳垢そのものが臭っていることがもっとも考えられます。

耳垢は、古くなってはがれ落ちた表皮と、外耳道の皮膚にある「わきが」と同じ汗腺の一種の耳垢腺というところから出る分泌物に、外耳道に外部から入ったホコリなどが混ざり合ったものです。耳垢には、カサカサした乾性耳垢と、アメのようにベタベタした軟性耳垢があります。日本人は乾燥耳垢のヒトが多く、アメ耳と呼ばれるワックスタイプの軟性耳垢の人は1~2割といわれています。

乾性耳垢も湿性耳垢も遺伝による体質的なものですから、どちらも病



気というわけではありません。しかし、とくに湿性耳垢は外耳道を完全に塞いでしまう耳垢栓塞という状態になることがよくあります。耳垢栓塞の場合には耳の閉塞感や痛みが出て、聞こえも悪くなりますから、治療が必要です。

臭いのある耳垂れがあるというとき、外耳炎や外耳湿疹から細菌感染やカビが生えて外耳道真菌症となっていることもあります。本人が気にしていつも耳をいじっているときにも、臭い耳垂れの原因になります。小児の外耳道は狭く短いので、家庭で耳垢を取ろうとして外耳道だけでなく鼓膜までも傷つけることがあります。気になるときは耳鼻咽喉科を受診して診てもらうのがよいでしょう。(笠井耳鼻咽喉科クリニック/笠井 創)

Q 1か月の娘がいます。私自身、絵本が大好きなので、娘に読み聞かせをし

たいのですが、毎日寝ているだけの新生児にはまだ早いでしょうか？寝ている耳元で本を読んであげるのは、娘のこころの発達に何かよい影響をもたらしますか？

A 赤ちゃんは、おなかにいるときから周りの声を聞いています。とくに母親の声を一番聞いています。そのときは生まれてから聞く言葉とは違って声のリズムと抑揚を聞いていて、生まれてから母親の声を聞き分けることができるということがわかっています。さらに、普通に音読するよりも、赤ちゃんへの語りかけや、目の前の赤ちゃんのことを思いながら読み聞かせをする言葉によく反応することもわかっています。一方、読んでいる母親にも、赤ちゃんに読み聞かせをしているときには、他者を思いやる気持ち（つまりこれから続く子育てで必要な赤ちゃんに対する愛情）が育つこともわかってきました。赤ちゃんには安心、安全がもっとも大事ですので、気持ちの安定した人と心地よい時間を過ごすことが望まれます。赤ちゃんの機嫌がよいときに読み聞かせをしてやる時間を持つことは、親子両方にとってとてもよいことです。読み聞かせだけでなく、語りかける、歌を歌ってやるなど、赤ちゃんの生活リズムに合わせてかかわるといいでしょう。(吉村小児科/内海裕美)